



Miura city council news

みうら市議会だより

2021.9.1 第146号



- 正副議長・常任委員長などの
役職を改選
- 政治倫理審査会を設置
- 第1回臨時会を開催



総務 経済

◎専決処分の承認を求めることについて（令和三年度三浦市一般会計補正予算（第二号））

本案は、生活困窮者自立支援事業に係る予算について緊急を要したため、専決処分したものです。

【質問】 今回支給する新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の対象者をお聞きしたい。

【答弁】 県が実施した特別貸付が利用できなかった世帯で、収入、資産額、求職活動などの要件を満たすと対象になる。

◎三浦市個人情報保護条例等の一部を改正する条例
例
本案は、公共施設等運営権者による公共下水道施設等の運営が適切に行われるように、罰則を設けるため関係条例の整備を行うものです。

【質問】 過料の対象となる違反行為を伺いたい。

【答弁】 使用料、利用料金を算出するための資料の提出拒否や不実の記載、不正手段により徴収を免除することなどが該当する。

【意見】 本案は、公共下水道事業へのコンセッション方式導入に伴うものであり、反対する。

◎三浦市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例
本案は、市職員が職務の宣誓をする際に押印及び対面を不要とするほか、必要な規定の整理を行うものです。

（質疑は特にありませんでした）

◎三浦市固定資産評価審

査委員会条例の一部を改正する条例
本案は、審査申出書等への押印及び署名を不要とするほか、規定の整理を行うものです。

（質疑は特にありませんでした）



◎三浦市手数料条例の一部を改正する条例

本案は、個人番号（マイナンバー）カードに関し、九月一日以降は地方公共団体情報システム機構が再交付の手数料を定めて徴収することになるため、市の手数料を廃止するものです。

【質問】 改正後、本市での手数料の扱いはどうなるのか。

【答弁】 手数料は委託を受けて市が徴収する。また、手数料の額も変わらない見通しなので、住民側からは特段の変更は生じない。

い。

【意見】 マイナンバーカードに関連するため、本案には反対する。

◎令和三年度三浦市一般会計補正予算（第三号）

本補正は、歳入歳出それぞれ二億七百三十七千円を追加するものです。

（質疑の主な項目）
・コミュニティ助成事業に採択された事業の内容について
・観光の核づくり推進事業に伴って行われる市道拡幅工事の財源について

【質問】 新型コロナウイルススワクチン接種に当たる職員の体制を伺う。

【答弁】 接種人数が多い休日、市職員六十七人を



休日の接種会場となった潮風アリーナ

含む百三十六人の体制、接種人数が少ない平日は、市職員十八人を含む三十五人といった体制で対応している。

【質問】 二町合理立地に排水管等の設置を行うが、起債で事業を行う理由をお聞きしたい。

【答弁】 三セク債特別会計の基金で対応する事業だと考えるが、事業の全体が把握できていないため、起債の許可を得られるように今回の補正予算議案を提出した。

◎令和三年度三浦市一般会計補正予算（第四号）

本補正は、歳入歳出それぞれ千二百三十五万五千円を追加し、総額を百七十五億六千四百七十九万五千円とするものです。

【質問】 引橋地区で市民交流拠点整備のための調査を行うが、対象範囲をお聞きしたい。

【答弁】 現在、造成工事を行っている場所を対象地域として、民間機能導入に関する調査を行う。

都市 厚生

◎令和三年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算（第一号）
本補正は、歳入歳出それぞれ三百五十一万一千円を追加するものです。

【質問】 計上された委託料の具体的な内容は。

【答弁】 法改正により高額介護サービス費などの負担額が見直されたので、システム改修を行う。

【意見】 システム改修の事業費は二分の一が国からの補助だが、全額が補助されるべきである。機会を捉えて自治体の意見を伝えてほしい。

【意見】 今回の制度改正で市民負担が増えているので、本補正に反対する。



常任委員会の構成

第二回定例会から常任委員会の構成が変わりました。常任委員会は、議案や請願・陳情などを審査したり、所管事項の事務に関する調査を行います。議案や請願は、常任委員会での審査結果をもとに、本会議で採決します。

三浦市議会では、二つの常任委員会があり、議員はいずれかの委員会に所属します。（議長は議会の申し合わせにより、常任委員を辞任していません。）

総務経済常任委員会

- 委員長 出口 眞琴
副委員長 溝川 幸二
寺田 一樹
千田 征志
長島満理子
小林 直樹

【所管事項】

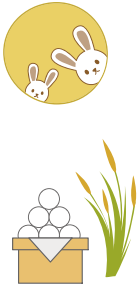
政策部、総務部、市民部、経済部、会計課、監査委員、農業委員会、選挙管理委員会、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項ほか

都市厚生常任委員会

- 委員長 出口 正雄
副委員長 鈴木 敏史
蓮本 一朗
石橋むつみ
藤田 昇
神田 眞弓

【所管事項】

保健福祉部、都市環境部、市立病院、上下水道部及び教育委員会の所管に属する事項



令和2年度 決算審査特別 委員会を設置

第二回定例会では、七人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、公営企業会計（病院・水道・公共下水道）の決算議案を付託しました。

今定例会では、これらの三議案は継続審査とし、次回の定例会で提出される一般会計、特別会計（国保・後期高齢者医療・介護・市場・三セク償償還）の決算議案と併せて委員会審査を行うことにしました。



解説

公営企業会計は、事業年度が終了して三か月を経過した後、最初に招集される議会で決算認定議案を提出することが法律で定められています。ことは六月に市長選挙と市議会議員補欠選挙が行われたため、定例会がひと月遅れの七月に開かれました。このため、他の会計より先に三件の決算議案が提出されたのです。

決算審査 特別委員会

- 委員長 長島満理子
副委員長 溝川 幸二
委員 蓮本 一朗
鈴木 敏史
石橋むつみ
出口 正雄
神田 眞弓

議会ウェブサイトのご案内

三浦市議会ウェブサイトでは、会議録の閲覧・検索のほか、定例会の日程や議案の審議結果など、議会に関する情報をご覧いただけます。



三浦市議会トップページ

http://www.city.miura.kanagawa.jp/gikai/gikai_index.html



会議録検索システム

議案番号	議案名	議決状況
議案第40号	令和2年度一般会計補正予算（第2号）	議決可決 全会一致
議案第41号	二浦市個人福祉課事務用車の一部を改定する条例	議決可決 賛成多数
議案第42号	二浦市職員の給与に関する条例の一部を改定する条例	議決可決 賛成多数
議案第43号	二浦市固定資産評価委員会条例の一部を改定する条例	議決可決 賛成多数
議案第44号	二浦市労働委員会条例の一部を改定する条例	議決可決 賛成多数
議案第45号	令和2年度三浦市水道事業会計決算の認定について	継続審査
議案第46号	令和2年度三浦市下水道事業会計決算の認定及び決算の認定について	議決可決 賛成多数
議案第47号	令和2年度三浦市一般会計補正予算（第3号）	議決可決 賛成多数
議案第48号	令和2年度三浦市労働委員会条例の一部を改定する条例（第1号）	議決可決 賛成多数
議案第49号	監査委員の選任につき関係事項を定めることについて	議決可決 全会一致
議案第50号	令和2年度一般会計補正予算（第3号）	議決可決 賛成多数
議案第51号	議決の議案	議決可決 賛成多数
議案第52号	議決の議案	議決可決 賛成多数

議案等の審議結果

新たに提出された陳情

◎教職員定数改善の推進および教育予算の拡充を求める二〇二二年度政府予算についての陳情書

趣旨 本陳情は、子供たちの教育環境を改善するために中学校でも三十五人以下学級を早急に実施すること、小学校の学級編制標準の引下げを着実に実施すること等について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎三浦市学校教育ビジョンに関し①地域協議会の見直し、及び、②外部の有識者等による検討会等の設置を求める陳情書

趣旨 本陳情は、地域協議会のメンバーは地区長など地域の人の中心とすること、外部有識者会議や教職員・保護者による検討会を設置することについて、市に進言するよう求めています。

◎三浦市学校教育ビジョンに関し公正なアンケートの実施を求める陳情

趣旨 本陳情は、今後、市がアンケートを実施する場合、公正な結果が得られるようにアンケートのとり方などを市に進言するよう求めています。

◎新型コロナウイルス感染症ワクチン接種が広範囲に実施されるにあたり、接種者が安心して受けられるための十分な財政支援を国に求める陳情

趣旨 本陳情は、ワクチンでの副反応発生者に対する予防接種健康被害救済制度を一層充実させること等について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

趣旨 本陳情は、標題の件について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎三浦市学校教育ビジョンに関し公正なアンケートの実施を求める陳情



陳情の審査結果

7月定例会で審査を終えた陳情は、次のとおりです。

所管委員会	件名	結果
都市厚生	教職員定数改善の推進および教育予算の拡充を求める2022年度政府予算についての陳情書	了承できるもの
	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	審議未了

請願書・陳情書の提出方法

◇市政についての要望などを、請願や陳情として議会に提出することができます。

◇請願は、紹介議員が必要です。

◇書式はA4・横書きで、次の例を参考にしてください。

〈記載例〉

〇〇についての請願（陳情）書

請願（陳情）の趣旨
請願（陳情）の理由

令和 年 月 日
三浦市議会議長 様

住所 ○○○○
氏名 ○○○○
(署名または記名押印)

◇定例会ごとに定めた提出期限までに受理したものは、その定例会で取り扱います。

◇提出者は、付託された委員会に出席して趣旨説明ができます。(前日までの申し出が必要です)

提出期限等は議会ウェブサイト「請願と陳情」のページをご覧ください



本会議での議案等の審議結果

《全員賛成で議決した議案》

【議案】

- 第33号 専決処分の承認を求めることについて
- 第35号 三浦市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例
- 第36号 三浦市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例
- 第43号 監査委員の選任につき同意を求めることについて
- 第44号 令和3年度三浦市一般会計補正予算（第4号）
- 第45号 副市長の選任につき同意を求めることについて

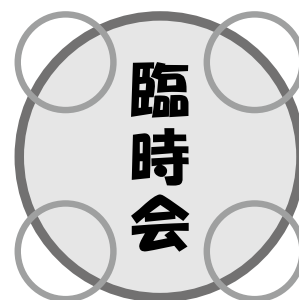
【意見書案】

- 第1号 計画的な教職員定数の改善と教育予算の拡充を求める意見書

《賛否が分かれた議案》 ○賛成 ●反対

※ 議長は表決に加わらない

番 号	件 名	審議結果	自由民主党					公明・みうらクラブ			日本共産党		無所属		
			草間道治	千田征志	長島満理子	出口正雄	神田眞弓	出口眞琴	溝川幸二	鈴木敏史	藤田昇	石橋むつみ	小林直樹	蓮本一朗	寺田一樹
【議案】 第34号	三浦市個人情報保護条例等の一部を改正する条例	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第37号	三浦市手数料条例の一部を改正する条例	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第41号	令和3年度三浦市一般会計補正予算（第3号）	可決	※	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第42号	令和3年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○



四月二十六日に臨時会が開かれ、二件の議案が提出されました。

委員会では審査後、二件とも全会一致で承認・可決しました。

総務経済

◎専決処分の承認を求めることについて（市税条例の一部改正）

本案は、固定資産税と都市計画税に係る規定の整備等に緊急を要し、専決処分したものです。（質疑の主な項目）

質問 今回、固定資産税と都市計画税の課税に平均負担水準方式を適用しない措置を延長するが、この説明を伺いたい。
答弁 平均負担水準方式を適用すると、隣接地と

の課税額に差が生じてしまう地区があるので、措置の延長を行う。

◎令和3年度三浦市一般会計補正予算（第一号）

本補正は、コロナ禍での生活支援や経済対策に向けた財政措置をするため、歳入歳出それぞれ一億七千五百三十二万九千円を追加するものです。（質疑の主な項目）

質問 ひとり親世帯への児童扶養手当給付に当たり、市で給付額を上乗せする考えはなかったのか。

答弁 前回より給付額が上がったことや他市の状況を踏まえて、上乗せを行わないことにした。

質問 経済対策としてプレミアム付き電子クーポンを発行するが、具体的な内容をお聞かせください。

答弁 飲食店での消費促進と非接触型決済の普及を図るため、電子端末で利用するクーポンとした。利用店舗については、大型のスーパー等は対象にしない想定である。



防災態勢の強化他
小中校避難訓練・海事産業振興
無所属 蓮本 一朗

質問 警戒レベル四の避難勧告と避難指示は避難指示に一本化された。この避難指示発令の要件について伺う。

校では、地震後の津波を想定して、両校の校地内で最も高台の南下浦中学校校庭に避難するなど小中合同避難訓練を実施。

防災担当部長 気象庁発表の気象警報等や今後の気象予報、土壌雨量指数などの情報を総合的に検討し判断していきたい。

質問 市内の小中学校ではどのような避難訓練を行っているのか。



日頃の訓練が大切です。

教育部長 小学校では年五回程度、中学校では年三回程度実施。内容は、地震・火災を想定した訓練、津波を想定した訓練、大規模災害を想定した保護者への引渡し訓練。

質問 自衛隊の災害派遣の要請は県知事を通じて実施する。大規模災害発生時、混乱した状況下、自衛隊の派遣まで時間を要すると懸念される。市長の考え如何。

初声小学校が津波を想定した避難訓練を実施する際に初声中学校の協力の下、中学校校庭を避難場所としているほか、南下浦小学校と南下浦中学

市長 自衛隊OBを防災課危機対策担当課長として採用したことで自衛隊と緊密な関係を構築し、市の危機管理体制が充実

してきた。
災害派遣を必要とする災害が発生した際には、県知事への要請と並行して、危機対策担当課長から、第三十七普通科連隊等に災害の状況や必要とする活動内容等を提供して災害派遣をよりスムーズに受けられることができる」と認識している。自衛隊との連携強化が大変重要だと認識している。

質問 三崎漁港へのスパーヨット誘致など、三崎漁港の多目的活用の取組が進められている。今後漁港の多目的活用の取組を進める上で海事産業の振興という視点を含めた検証を進めてほしい。

市長 「海業」という言葉がある。海のなりわい、海に関連する産業を総称したもので蓮本議員の言う「海事産業」と一致している。(漁港の多目的活用などの)先人の取組を成長、具現化していくのが今の私たちの仕事であると考えている。



あったかいまち
子供を産み育てたくなるまち
自由民主党 神田 眞弓

質問 五期目に向けた抱負と課題

市長が四期十六年、決してぶれることなく堅持してきた政治信条「あったかいまち」について伺う。

市長 市民の方たちに親切で丁寧に対応することが基本である。取り組みの結果としては、保健医療、市民施設の充実にも努め、限られた財源の中で環境整備をした。民間の経営感覚を持ってもらい、役所がやらなければいけないこと、民間でもできることに真摯に取り組む効率化を図っていく。三浦市はまだまだ成長できるまちと考えている。

基本姿勢を継続し「三浦市は人よし、食よし、気分よし」と多くの方に感じていただけるようなまちづくりに取り組む。

質問 教育ビジョン

教育ビジョンにどのような姿勢で臨むのか。勇気ある見直し、柔軟な姿勢に立ち戻することは、原点に返り、勇気あるリセットと大いに評価する。今後の取り組みを伺う。

市長 令和七年を目途にというスケジュールにとられず、保護者並びに市民の意見を丁寧聞き、三浦の子供たちの実情に合った学校体制を検討する。一中学校区一小学校の体制も現状を踏まえて、見直しの対象であると考えている。

質問 子ども部の創設

子供を中心とした子育て施策を市民の目線で見ると、利用しやすいものにするためには、関連する業務をさらに集約させ、ハード面、ソフト面で納得できる体制が必要では

ないか。業務を一元化し、子ども部を創設することについて伺う。

市長 支援を一元化できる組織は安心して子供を産み育てられるまちづくりにつながる。組織の改編や、それに伴う部署の配置も含めて検討していくべき課題である。



三浦市子ども課

質問 ゼロカーボンシティ宣言

宣言後の地球温暖化に関する新たな取り組みについて伺う。

市長 環境保全に関する様々なマークを生活の中で探し出し、環境について学ぶ、環境マークプログラムを市内小学校三年生全員に配布し、次代を担う子供たちの環境教育に有効に活用する。

観光の回遊性向上



環境美化について
公明・みうらクラブ 溝川 幸二

観光の回遊性向上

質問 西海岸線について、六月二十五日、神奈川県知事は、小網代から三崎口に抜ける西海岸線道路未整備区間約二・五キロの測量を二〇二三年度にも始めるというニュースが流れた。西海岸線未整備地区の着手についてどのように捉えているか。

保等、長年の問題が一挙に片づく可能性がある。今後策定される三崎漁港グランドデザインの中で検討してはいかかがか。

水産担当部長

新港駐車場の立体化は、駐車場不足に対処する案の一つだが、財源や採算性等に関して課題がある。

三崎下町の新たな駐車スペース確保は、三崎漁港グランドデザインの検討と並行して、様々なパターンを検証し、検討を進めていきたいと考える。

市長

知事が具体的にスケジュールを示したことは、早期整備の実現に向けた要望を行ってきた三浦市にとって非常にありがたいことだと考える。

三崎下町環境美化促進連絡会は、三崎下町七区を含む団体・個人が参加し、食と観光の三崎下町がおもてなしの心をもちて環境美化を促進することを目的に発足した。三浦市では、集められたごみの回収作業をはじめ、関係部署が連携し当連絡会の清掃活動への支援を行う。三十年以上にわたり自主的な清掃活動をしてきた方の呼びかけに、三崎下町七区を含む団体・個人が応じた今回の連絡会の設立は、環境美化の観点から非常に意義があるものと捉えている。今後その活動の支援を継続していきたいと考えている。

質問

三崎下町の駐車場不足への対応等について、三崎五丁目にある新港駐車場を五階建ての立体駐車場にして、避難所機能もあれば、駐車場待ちの解消、地震で万が一津波が発生した場合でも、三崎下町住民の避難場所確保

質問

三十三の個人・団体が参加する三崎下町環境美化促進連絡会という清掃ボランティア団体が発足した。こうした市民の活動に対して、市としても関わっていく必要があると考えるが、いかがか。

市長

三崎下町環境美化促進連絡会は、三崎下町七区を含む団体・個人が参加し、食と観光の三崎下町がおもてなしの心をもちて環境美化を促進することを目的に発足した。三浦市では、集められたごみの回収作業をはじめ、関係部署が連携し当連絡会の清掃活動への支援を行う。三十年以上にわたり自主的な清掃活動をしてきた方の呼びかけに、三崎下町七区を含む団体・個人が応じた今回の連絡会の設立は、環境美化の観点から非常に意義があるものと捉えている。今後その活動の支援を継続していきたいと考えている。



市民の呼びかけによって発足した(略) 三崎下町環境美化の会

家族介護について



生理の貧困、ごみとSDGs
日本共産党 石橋むつみ

質問

介護者が心身ともによい状態で介護できれば、介護される側にとってもよいことになる。三浦市の家族介護者の状況と家族介護支援の事業内容を問う。

保健福祉部長

第八期計画策定に当たり在宅介護実態調査を行った。介護者の孤立を防ぎ、介護者同士が気軽に相談や情報交換を行える場が必要と考える。支援事業として認知症ポーター養成講座や地域包括支援センター事業の家族介護教室などのほか、おむつなど介護用品支援がある。

行政や地域包括支援センター、病院などの連携がより必要になる。市の考えはいかがか。

市長

三浦市では、この三月に第三次みうら男女共同参画プランを策定し、ジェンダーに起因する暮らしにくさの改善を目指している。

「手と手をつなごう」の冊子を活用するなど、制度や事業の広報に努める。

質問

今後、介護者側と

質問

生理の貧困について、全国の自治体で動きがある。神奈川県はモデル事業として、八月までの三ヶ月間、十二

の県立高校と養護学校のトイレに生理用品を置く。三浦市の取組み状況はどうか。

教育部長

小中学校各々で養護教諭や担任が生理等に関する指導・学習をすすめている。女子トイレへの生理用品の配置は行っておらず、保健室に常備している。

質問

ごみとリサイクル、今年度の取組みは？

都市環境部長

ごみダイエット大作戦アクションプログラムは十年目になる。SDGsに資する活動として食品ロス対策やプラスチックごみ対策を盛り込み、キエーロのモニター事業推進、広報活動は各種媒体を通じて積極的に、ごみとリサイクルに関する市民講座も検討していきたい。



新版「手と手をつなごう」高齢者福祉と介護保険のあらまし



経済支援策

生活が困難している家庭の支援

無所属 寺田 一樹

質問 新型コロナが確認されて以来、市内経済は大きなダメージを受け続けている。中でも、飲食店は苦労が絶えないと感じているが、現状をどう捉えているのか伺う。

経済部長 三浦市は、五月十二日からまん延防止等重点措置の対象区域に指定され、飲食店は五時から二十時までの時短営業と、終日酒類を提供しないよう協力が求められた。六月二十一日に指定が解除され、酒類の提供ができるようになったが、五時から二十一時までの時短営業の協力が求められ、引き続き厳しい状況にあると認識している。

経済部長 昼の部も夜の部も販売開始後、すぐに完売するか、またはほぼ完売の状態であった。

質問 出店者からは、経営の一助になったとの声もあつたようだが、再実施の可能性を尋ねる。

経済部長 新型コロナの状況などを踏まえ、今後の実施を検討していく。



テイクアウト販売

質問 新型コロナの影響を受けている飲食店を支援するため、市職員向けにテイクアウト販売を実施したが、その成果は。

質問 長引くコロナ禍は、家庭にも大きな影響を与えており、支援制度を利用するための相談件数が大幅に増加している。そ

質問 長引くコロナ禍は、家庭にも大きな影響を与えており、支援制度を利用するための相談件数が大幅に増加している。そ

質問 長引くコロナ禍は、家庭にも大きな影響を与えており、支援制度を利用するための相談件数が大幅に増加している。そ

の一方で、支援を受けることをためらう家庭もあるようだ。支援制度の利用促進が図れるようなメッセージをお願いしたい。

市長 新型コロナの影響により生活が困難している家庭にいろいろな支援を行つてきている。生活にお困りの方は迷わず支援制度を利用してほしい。

要望 本市では、飲食店に限らず、様々な業種に対し、経済支援策を実施してきている。しかし業種によっては支援が充分に行き届いていないと言

い難い状況にある。また、事業者のみならず、市民の中にも、経済的困窮がはびこっている。明日のことを考えるだけで不安に駆られる市民も大勢いる。今こそ三浦市の持つ「行政力」を発揮する場面である。アフターコロナをみんなで迎えることができるよう、今後も効果的な支援策を、精力的・継続的に実施していくことを強く要望する。



安心できるまち

横断歩道の安全対策・災害対策

自由民主党 千田 征志

質問 三年に一度の通路の合同点検が行われると聞いているが、交通量が増えたことに対する初声小学校、初声中学校への安全対策について伺う。

教育部長 初声小学校では、教職員とPTAの方々が協力し登下校の見守りを行っている。三浦縦貫道に繋がる道路沿いには、通学路である事を知らせるのぼり旗を設置し注意喚起を行った。又、初声小学校正門前の横断歩道付近には、減速を促す路面標示の設置と区画線の引き直しを行い、啓発を図った。



初声小学校正門前横断歩道

質問 七月一日から三日までの三日間に三浦市では二九九・五ミリの雨量を記録しているが、詳しい状況について伺う。

防災担当部長 三日の七時四十二分に土砂災害警戒報が発表され、二十一時四十分には解除されるまでの間は、防災行政無線などにより市民に注意喚起を行うなど警戒体制を強化し、臨んだ。市内の被害状況は、土砂崩れ六件、倒木一件が発生、人的な被害や建物への被害の発生はなかった。



飯盛地区の災害現場

質問 市は冠水被害に對しどのような対策を実施しているのか伺う。

都市環境部長 県は、初声小学校入口交差点改良工事の際に排水機能の向上を図った。三浦市では、地下雨水貯留施設の排水を、貯留方法から強制的に排出する方法へ改善。又、初声地区新規開発事業に併せ、隣接する水路の整備を行い冠水被害の軽減対策を実施した。尚、冠水の恐れがある場合には、横須賀消防と連携し、パトロールを実施している。車両避難場所として近隣ショッピングセンター駐車を確保し、被害防止を図っている。

また、初声地区新規開発事業に併せ、隣接する水路の整備を行い冠水被害の軽減対策を実施した。尚、冠水の恐れがある場合には、横須賀消防と連携し、パトロールを実施している。車両避難場所として近隣ショッピングセンター駐車を確保し、被害防止を図っている。



通学路と利活用

安全対策と利活用用地について
公明・みうらクラブ 鈴木 敏史

質問 千葉県八街市の通学路での事故を踏まえて市長に通学路の安全対策についての思いを聞く。

市長 事故を起こした運転手は、飲酒をしておりまさに言語道断、強い憤りを覚える。同様の事故を決して起こしてはならないという強い思いである。市内の児童・生徒が安心して学校に通えるよう、これまで同様、引き続き関係機関と連携を取り通学路の安全確保に努めていく考えである。

質問 市内の通学路で路側帯やガードレールのない箇所はあるのか聞く。
教育長 通学路と指定している道路に、路側帯やガードレールが設置されていない箇所はある。交通量の多い大通りを避けることで、路側帯やガードレールのない、交通量の少ない道路を通学路と設定されている場合も含まれており、安全面を考慮した結果と考える。今後とも交通量の状況等を注視し、安全点検を適宜行い、必要に応じて通学路の見直しを行っていく。



通学路点検の様子

の少ない道路を通学路と設定されている場合も含まれており、安全面を考慮した結果と考える。今後とも交通量の状況等を注視し、安全点検を適宜行い、必要に応じて通学路の見直しを行っていく。

質問 地域プラットフォームの取組の一つである旧三崎中学校跡地等城山地区事業用地利活用プロジェクトだが、地域プラットフォームの取組みはこのプロジェクト以外に、二町谷の海業プロジェクト、三崎高等学校跡地利

活用、三崎漁港ランドデザイン作成の取組がある。これらの取組との関係性や、今後の取組について聞く。

市長 地域プラットフォームの取組は、密接に関係している。城山地区事業用地利活用プロジェクトの実施に伴い、市役所の移転先は三崎高等学校跡地が候補地となる。財源の面でも、城山地区事業用地利活用プロジェクトにより生ずる収入を、三崎高等学校跡地利活用の財源の一部としたい考えである。

また、三崎漁港の魅力を高める取組の、三崎漁港ランドデザイン作成では、城山地区事業用地利活用プロジェクトの事業者募集コンセプトを前提とし、ゾーニングやアクションプランを検討する必要がある。これらの関係性を生かし、三つの事業の効果がそれぞれ高まることを目指し、引き続き取組む考えである。



学校教育ビジョン

文化財の保護、市役所の移転
日本共産党 小林 直樹

学校教育ビジョン

質問 主な内容は、市内八小学校を三校にしてしまう一中学校区一小学校、そして、小学校と中学校が離れている施設分離型の小中一貫教育である。

市長 一中学校区一小学校とするビジョンを見直す。市民の皆さんの声を丁寧に聞きながら慎重に検討する。アンケートを取り課題への対応策も示していきたい。統合ありきではない。

質問 一中学校区複数小学校でも施設分離型の小

中一貫教育を行うのか？

教育部長 施設分離型の小中一貫教育も見直しの対象になる。

要望 一中学校区一小学校と施設分離型の小中一貫教育の二つの根幹の見直しである。子どもたちは地域の宝、教育は未来への投資である。市民の意見を十分に聞いて見直しをしていただきたい。



三浦市立岬陽小学校

文化財の保護

質問 旧城ヶ島分校海の資料館は、建物自体が市指定の文化財であり、中にある漁撈用具コレクションは県指定の文化財で

ある。しかし、建物は入口にベニヤ板が張られ閉鎖されている。また、軒が崩落して雨漏りしている。非常に悪い状態だが、どのように考えているのか？

教育部長 現状については把握している。

要望 雨漏りを放置しておくことは良くない。早急に修繕することが必要である。

市役所の移転

質問 引橋地区の土地利用で、全体の整備が完了するのはいつ頃になるのか？

特定事業担当部長 令和八年四月の市役所移転を目途に基盤整備などを進めていきたい。

質問 市役所の移転については、市民に意見を聞くことが必要であるが、どのように考えているのか？

市長 あらゆる機会において、いただいた意見を尊重して事業に取り組んでいく。



観光振興ビジョン

ワクチン接種・学童クラブ

自由民主党 長島満理子

質問 今年五月に三浦市観光ビジョンが策定された。ビジョン策定の目的や目指すもの、推進体制等について伺う。

市長 ビジョンは、三浦市全体と地区ごとに観光のあるべき姿を明らかにし、市や観光協会及び海業公社などそれぞれの役割を担って、施策・事業展開をすることを目的としている。三浦市ならではの六次経済の構築を図り、観光客の多様なニーズに対応した複合的な観光サービスの提供などを通じ観光振興につなげることを目指している。

の支援について伺う。保護者会で、離れた小学校から放課後児童クラブまでバスやタクシーを使うなど、送迎支援事業実施の意見が出た。送迎支援があれば、現在遠くから通う児童の安全を確保することができ、遠いことが理由で放課後児童クラブを利用しなかった児童が利用することができる。放課後児童クラブへの送迎支援について、現状及び今後の考えを聞く。

保健福祉部長 送迎支援を行っている放課後児童クラブはない。三浦市放課後児童クラブ連絡協議会や放課後児童クラブどころんこの保護者会より、児童の安全確保や、放課後児童クラブの未設置校区への対策として、送迎支援事業を実施したいと要望を受けている。子ども

も課において、事業の他市の実施状況等について情報収集を行い、事業実施の可能性について検討を行っている。

質問 順調にワクチン接種ができることを望むが、ワクチンの供給量について、市民が不安に感じるのはないかと危惧するが、心配はないか聞く。

若い世代の接種は副反応が強いと言われるが、新型コロナウイルスに感染するリスクを考えれば、接種したほうがメリットはある。若い世代への接種を早期に開始したらどうか要望する。

保健福祉部長 ワクチンの供給については、今後の供給量を明確に示されていないため、接種計画を検討するのに苦慮している。確定している供給量に基づき、接種の予約を受けている。ワクチン供給量を確認しながら、希望される市民の方々に接種を受けていただけるように取り組んでいく。



防災・減災対策

おくやみコーナーの設置

公明・みうらクラブ 藤田 昇

質問 風水害対策について、梅雨や台風の影響で集中豪雨による土砂災害や冠水などの災害がいつ発生してもおかしくない異常気象が頻発している状況である。このような中で、気象防災アドバイザーやJETT(気象庁防災対応支援チーム)の有効活用が必要と考えるが、市としてどのように考えているのか伺う。

防災担当部長 これまでは、台風の接近が予想される場合などは、横浜地方気象台のホットラインを活用して対応してきたが、議員のご指摘のとおり、気象防災アドバイザーや気象庁防災対応支援チーム、通称JETTの活用について、各自治体における活用事例などを参考に検討を行ってまいりたいと考えている。

質問 市民サービスの向上について、おくやみコーナーの設置について、ご遺族の負担を少しでも軽減するため、以前から一般質問等で設置について要望している。改めておくやみコーナーの設置について要望するが、市長のお考えを伺う。

市長 ご要望いただいた死亡に伴う手続の専門窓口の設置、これはご遺族のご負担を軽減できる大変重要なサービスであると認識している。現在、市民サービス課のお客さまセンターで各種市民相談を実施しているが、そのうちの中で、例えば、事前予約制でおくやみ相談などご遺族の手続のお手伝いができないかなどを検討している。窓口は市役所の顔であり、市民の皆様にとって、より分かりやすく利用しやすい窓口となるよう、努めてまいりたい。

質問 三浦市立病院における診療待ち時間の短縮について、自動支払機の導入について、他の医療機関で採用されている自動支払機の導入やクレジットカードでの支払いの採用により、待ち時間の短縮が図れるのではないかと考えるが、そこで、自動支払機の導入について、どのように考えているのか伺う。

病院事務局長 今後のアフターコロナにおける外来患者の動向を注視している。導入については継続して検討してまいりたいと考えている。

質問

放課後児童クラブ



開設された三浦海岸海水浴場

の支援について伺う。保護者会で、離れた小学校から放課後児童クラブまでバスやタクシーを使うなど、送迎支援事業実施の意見が出た。送迎支援があれば、現在遠くから通う児童の安全を確保することができ、遠いことが理由で放課後児童クラブを利用しなかった児童が利用することができる。放課後児童クラブへの送迎支援について、現状及び今後の考えを聞く。

保健福祉部長 送迎支援を行っている放課後児童クラブはない。三浦市放課後児童クラブ連絡協議会や放課後児童クラブどころんこの保護者会より、児童の安全確保や、放課後児童クラブの未設置校区への対策として、送迎支援事業を実施したいと要望を受けている。子ども

防災担当部長 これまでは、台風の接近が予想される場合などは、横浜地方気象台のホットラインを活用して対応してきたが、議員のご指摘のとおり、気象防災アドバイザーや気象庁防災対応支援チーム、通称JETTの活用について、各自治体における活用事例などを参考に検討を行ってまいりたいと考えている。

市長 ご要望いただいた死亡に伴う手続の専門窓口の設置、これはご遺族のご負担を軽減できる大変重要なサービスであると認識している。現在、市民サービス課のお客さまセンターで各種市民相談を実施しているが、そのうちの中で、例えば、事前予約制でおくやみ相談などご遺族の手続のお手伝いができないかなどを検討している。窓口は市役所の顔であり、市民の皆様にとって、より分かり



市民サービス窓口

西海岸線道路

学校避難確保計画

自由民主党 出口 正雄



質問 六月の神奈川県議

会での西海岸線道路に關する一般質問に対し、黒

岩知事は早ければ令和五年度から未整備区間の測量などの事業に着手すると表明した。三浦市にと

って重要な施策が前進した。そこで神奈川県が計画する西海岸線の位置づけと市長の思いを聞く。

市長 都市計画道路西海岸線は、昭和二十八年に都市計画決定され、県道二百十六号油壺線から南側が整備されたが、その後、長年中断されていた路線である。未整備区間の整備がもたらす効果は経済面でも防災面でも絶大であり、用地測量の着手のスケジュールを知事が示していただいたことは、整備に向けた大きな前進であり、非常にありがたく思っている。

これからの県とともに整備の実現に向けた取り組みをしていく。

都市環境部長 神奈川県では、道路部門の実施計画として、令和七年までを計画期間とした「かながわのみちづくり計画」を定め、西海岸線は整備推進箇所四十四か所の一つに位置づけられている。

教育長 防災教育は、各学校においてその指導方針等を規定している。具体的には学級指導、総合的な学習の時間、避難訓練時や集団下校の際の危険箇所や安全の確保などについて学習している。自らの身を自らが守ることを基本として、教職員と児童・生徒がそれぞれ適切な行動がとれるよう引き続き訓練と防災教育を進めていく。

経済部長 お客様の価値観の変化等に対し、京急グループが外部事業者と共同して滞在拠点の再整備に取り組むものである。

質問 京急グループとの官民連携によるエリアマネジメントの環境で三浦 Cocoon といったサービスがあるが、この概要について伺う。

経済部長 専用ウェブサイトの運営をし、三浦 Cocoon Family の各事業者が三浦半島での様々な過ごし方の提案などに係る情報提供をしている。

質問 三浦市として、今後の三浦 Cocoon に期待するものを伺う。

経済部長 顧客行動の分析や課題を抽出することが可能になるため、こうした分析を踏まえ観光振興への一助となることを期待されている。

質問 三浦半島の再整備は、市内各地区の特性に沿い、取組を継続していくことが重要と考えるが、市長の考えを伺う。

市長 三浦市観光振興ビジョンを策定し、今後は地区ごとに整理した課題の解消に向けた施策展開もしていきたい。



西海岸線の未整備区間

学校避難確保計画

質問 三浦市内には、一級・二級河川がないため

河川からの浸水が想定される学校はないが、高潮浸水区域には浸水の恐れのある学校や津波による浸水が想定されている学

校がある。また土砂災害ハザードマップには市内の多くが急傾斜警戒区域や特別警戒区域に指定されている。学校で策定された避難確保計画もこれらを認識した上での防災教育や避難訓練が必要である。屋外での危険性が増加している場合の上階への垂直避難の検討も重要である。学校内だけでなく登下校時でも危険な場所は多く存在する。危険を下げるための防災教育は無駄ではない。教育長の考えを聞く。

観光振興について

都市近郊リゾートみづらの創生

自由民主党 出口 眞琴



質問 京急グループの中期経営計画「都市近郊リゾートみづらの創生」の概要について伺う。

経済部長 お客様の価値観の変化等に対し、京急グループが外部事業者と共同して滞在拠点の再整備に取り組むものである。

質問 京急グループとの官民連携によるエリアマネジメントの環境で三浦 Cocoon といったサービスがあるが、この概要について伺う。

経済部長 専用ウェブサイトの運営をし、三浦 Cocoon Family の各事業者が三浦半島での様々な過ごし方の提案などに係る情報提供をしている。

質問 三浦市として、今後の三浦 Cocoon に期待するものを伺う。

経済部長 顧客行動の分析や課題を抽出することが可能になるため、こうした分析を踏まえ観光振興への一助となることを期待されている。

質問 三浦半島の再整備は、市内各地区の特性に沿い、取組を継続していくことが重要と考えるが、市長の考えを伺う。

市長 三浦市観光振興ビジョンを策定し、今後は地区ごとに整理した課題の解消に向けた施策展開もしていきたい。

マネジメントの実現を進めていきたいと考える。

質問 三浦市として、今後、城ヶ島西部地区のまちづくりはどのように取組を進めていくのか伺う。

市長 三浦市は、これまでの検討結果を踏まえて、地区計画決定や市道の拡幅、広場の整備などといった都市基盤整備を実施して、城ヶ島西部地区の魅力向上に取り組む考えである。

意見 京浜急行電鉄がヒューリックと（仮称）ふぶ城ヶ島の開業に向け基本協定を締結した。城ヶ島西部地区のまちづくりに新たなランドマークが加わる事で、観光のまち三浦として魅力向上が図られることを期待する。



9月に閉館する油壺マリンパーク

可決した意見書（概要）

計画的な教職員定数の改善と教育予算の拡充を求める意見書

令和3年3月に改正義務教育標準法が成立し、小学校では全ての学年で35人学級が実現することとなった。学級編制の標準の一律的な引下げは約40年ぶりのことであり、計画のとおり着実に少人数学級を実現することが大事である。また、中学校でも同様に少人数学級の実現が必要であり、今後は中学校における少人数学級の実施を進めていくことが重要である。

よって、国においては、義務教育費国庫負担制度の堅持による財源保障をするとともに、令和4年度予算編成において、次の措置を講ずるよう強く要望する。

1. 子供たちの教育環境改善のため、小学校同様、中学校においても35人以下学級を早急に実施すること。
2. 改正義務教育標準法の計画どおり、小学校における学級編制の標準の引下げを着実に実施すること。
3. 学校施設整備費、教材費、図書費、旅費、学校・通学路の安全対策など教育予算充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

〈提出先〉内閣総理大臣／総務大臣／財務大臣／文部科学大臣

ここに広告を掲載しませんか？

「みうら市議会だより」は市内各世帯へおおよそ17,300部配布するほか、市役所、市民センター、市立病院、市内の駅などにも置いてあり、多くの方にご覧いただいています。

発行回数：年4回
 広告規格及び掲載料

例：縦4.2cm×横6.3cm

1回につき

・カラーページ12,500円

・単色ページ 9,500円

複数回の場合、掲載料が安くなります！



このスペースが
 縦4.2cm×横6.3cmの実際の
 大きさです。
 ほかのサイズもあります。
 是非ご検討ください！

※詳細は、議会ウェブサイト
 内の募集ページをご覧ください！



表紙写真 の紹介



議長の草間です。

今回の写真は、七月二十日に撮影しました「京急油壺マリンパーク」です。

五月十二日に、京急油壺マリンパークが令和三年九月三十日をもって閉館することが発表されました。

京急油壺マリンパークは、昭和四十三年の京急電鉄創立七十周年記念事業として開業し、開業当時には東洋一と言われた大回遊水槽をはじめ、相

模湾に生息する魚の展示、ペンギンやコツメカワウソの飼育展示、イルカやアシカのショーなどを

行っていました。

私もこれまで幾度となく子供を連れて遊びに行き、最近孫を連れてイルカやアシカのショーを見に訪れました。

しかし、建物や設備の老朽化が著しく、維持管理が難しいと判断し、閉館を決めたそうです。

長年親しまれてきた施設ということもあり、多くの市民からも閉館を惜しむ声が聞かれます。

これまで五十二年間の長きにわたり本市の観光の核となる施設として、多くの観光客に親しまれてきた京急油壺マリンパークが閉館することは、非常に残念であるとともに、今後の観光振興にも影響があると考えます。

京浜急行電鉄は、「都市近郊リゾートみうらの創生」を掲げて、油壺地区を含む三浦半島でのエリアマネジメント活動を強化するとしています。

議会としても、今後の再開発の取り組みに注目していきたいと思えます。

政治倫理審査会

審査経過の報告

六月十四日に、三浦市

議会議員政治倫理審査会
が設置され、現在、審査
を行っています。

この審査会は、市民か
ら三浦市議会議員政治倫
理調査請求書（対象：藤
田昇議員）が提出され
たことを受けて設置した
ものです。

今回は、これまで開催
された審査会の経過をお

三浦市議会議員 政治倫理審査会

委員長 出口眞琴
副委員長 溝川幸二
委員 寺田一樹
鈴木敏史

長島満理子
小林直樹
神田眞弓

審査の経過

第一回（六月十八日）

○正副委員長の互選
正副委員長を選出し
ました。

第二回（六月二十五日）

○調査請求内容について
調査請求書の内容と
今後の審査事項を確認
しました。

第三回（七月二日）

○調査請求の適否につい
て
提出された調査請求
の適否を次回協議する
こととしました。

第四回（七月十四日）

○政治倫理基準違反の行
為の存否について
審査に先立って、調査
請求者と当該議員に聴取
を行うことを決定しまし
ました。

為の存否について

調査請求者に出席い
ただき、調査請求の内
容に関する聴取を行
いました。

第五回（七月十五日）

○政治倫理基準違反の行
為の存否について
藤田議員に出席を求
め、調査請求書に示さ
れた事項について聴取
しました。

第六回（七月二十日）

○政治倫理基準違反の行
為の存否について
引き続き藤田議員に
出席を求めて聴取を行
いました。

◆各回の会議録などは、
三浦市議会ウェブサイ
トに掲載しています。



新型コロナウイルス

感染症に対する

議会の対応



*議会災害等対策本部

六月二十五日

○市の対応について報告
を受けた。

- ・まん延防止等重点措
置の適用終了に対す
る市長メッセージに
ついて
- ・新型コロナウイルス
ワクチン接種の状況
について

の取り組み方針の変
更について

- ・みうらおもてなし
クーポンの販売延期
について
- ・五十九歳以下の方の
新型コロナウイルス
ワクチン接種券と案
内の発送について

七月定例会の運営方法 について協議した。

- ・一般質問は、新型コ
ロナウイルスに関連
する質問項目が重複
しないよう調整を行
う

○議会への請願・陳情は
当面、現在の提出方法
を継続することとした。

- ・持参できない場合、
申出があれば、郵送
も持参と同様の扱い
とする

*議会運営委員打合せ

七月十三日

○議会報告会の開催時期
について、年度内に開
催することを前提に改
めて協議することとし
た。

七月二十日

○市の対応について報告
を受けた。

- ・神奈川県版緊急事態
宣言の発出に伴う市

○政治倫理審査会とは

本市議会議員について、三浦市議会議員
政治倫理条例で定めた政治倫理基準への違
反が認められると市民からの調査請求が
あったとき、または議長が必要と認めると
きに審査会を設置します。

審査会では、調査請求の内容が審査を行
うに適するものであるか、当該議員に政治
倫理基準に違反する行為があったのか等を
審査します。

今回は、3月10日の都市厚生常任委員会
における陳情審査の際の言動等が調査の対
象となりました。

9月定例会日程案

令和3年第3回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
9月1日	水	招集告示
3日	金	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
8日	水	本会議（一般質問）
9日	木	本会議（一般質問）
10日	金	本会議（一般質問）
13日	月	総務経済常任委員会
14日	火	都市厚生常任委員会
16日	木	決算審査特別委員会
17日	金	
21日	火	
22日	水	
24日	金	
29日	水	本会議（委員長報告・採決）

※今定例会で審査する請願・陳情の提出期限は9月2日(木)です。



お家でも議会が 見学できます！

三浦市議会では、本会議のライブ映像や過去の映像をYouTubeで配信しています。スマートフォンでも視聴できますので、ぜひ、議会の様子をご覧ください。

議会インター
ネット中継は
こちらから⇒



三浦市議会 議会中継 🔍 検索

※過去の映像は会議録が議会ウェブサイトに掲載されるまでご覧いただけません。

監査委員（議会選出）

三浦市では二人の監査委員が、市の経理や事業が適正で効率的に行われているかをチェック（監査）しています。委員のうち一人は市議会議員から選ばれます。

このたび、議会選出の監査委員として次の議員を新たに選任するための議案が提出され、同意することになりました。

出 口 眞 琴 議員

後期高齢者医療広域連合議会議員

神奈川県後期高齢者医療広域連合議会は、県内すべての市町村が加入する、同広域連合の予算や条例の審議・決定などを行う機関で、県内の市町村議会議員二十人で構成されています。

このたび、三浦市議会から次の議員が広域連合議会議員として選出されました。

藤 田 昇 議員

副市長の選任に同意

市長から、現在の副市長を引き続き選任するための議案が提出され、同意することに決しました。

副市長

星 野 拓 吉 氏

議席を変更しました



自由民主党	13 出口眞琴	12 神田眞弓	10 藤田 昇	11 小林直樹
公明・みうらクラブ				
日本共産党				
無所属	3 寺田一樹	9 出口正雄	5 鈴木敏史	6 石橋むつみ
4 草間道治		7 千田征志	質問席	2 溝川幸二
				1 蓮本一朗

- 7月9日の本会議において議席を変更しました。(数字は議席番号)
- 議席とは、議員が議場で座る席のことです。議員が会議で発言する際は、議長が議席番号を指名して許可することで発言できます。
- 新型コロナウイルス感染症対策として議席の間隔を空けているため、通常と異なり、席の配置が番号順になっていません。

活動報告

ICTに関する 検討委員会



タブレット端末導入による議会内のICT(情報通信技術)の活用について検討を進めるため、五月二十五日に先進地である逗子市議会を視察しました。

説明を受けながら、実際にタブレット端末の操作を体験しました。

タブレット端末の導入により、情報共有が容易になる、資料がカラーで見やすくなる、知りたい情報がすぐ検索できるなど、議会活動の効率化が図られることを改めて確認しました。



今後他市議会の導入事例を参考に、導入した場合の活用範囲の検討やアプリの選定等を進めていきます。

逗子市議会では、平成二十五年からタブレット端末を導入しています。まず導入の経緯や端末機使用にあたってのルールと体制づくり、議案等の配布方法等について伺いました。その後、逗子市議会議員の皆さんから



正副議長

就任あいさつ



議長 草間道治



副議長 藤田 昇

このたび、議員各位の推挙により、第四十二代議長並びに第四十六代副議長に就任いたしました。ともに引き続いての正副議長就任となりましたが、大変身に余る光栄であり、また、その職責の重さを痛感しております。

未だ、新型コロナウイルス感染症に終息の兆しが見えない中、本市でも行政と関係団体が丸となり、急ピッチでワクチン接種が進められております。一日も早い終息を祈りますと共に、コロナ禍により大きな痛手を被りました市民生活並びに地域経済の立て直しが急務であると考えます。

そのほかにも厳しい財政状況や少子高齢化問題などに加え、近年では巨大台風やゲリラ豪雨への対応など、市が抱える課題は山積みであり、二代表制の一翼を担う市議会の役割もより一層重要となつて来ております。

これからも、市民皆様の多様な声を代表し、市長その他の執行機関と真摯に議論を交わし、今までの以上のスピード感を持って市の意思決定が図られるよう不断の努力をまいりますので、皆様の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新議員の紹介

千田 征志 氏が補欠選挙に当選



ページの記事をご覧ください。

六月二十日に三浦市議会議員補欠選挙（無投票）が行われ、千田征志氏（初声町下宮田）が当選しました。任期は、前任者の残任期間である令和五年四月三十日までです。

議員表彰

五月二十六日開催の第九十七回全国市議会議長会定期総会で、次の議員が永年勤続者として表彰されました。

また、定例会初日には、正副議長室で議長から表彰状の伝達が行われました。



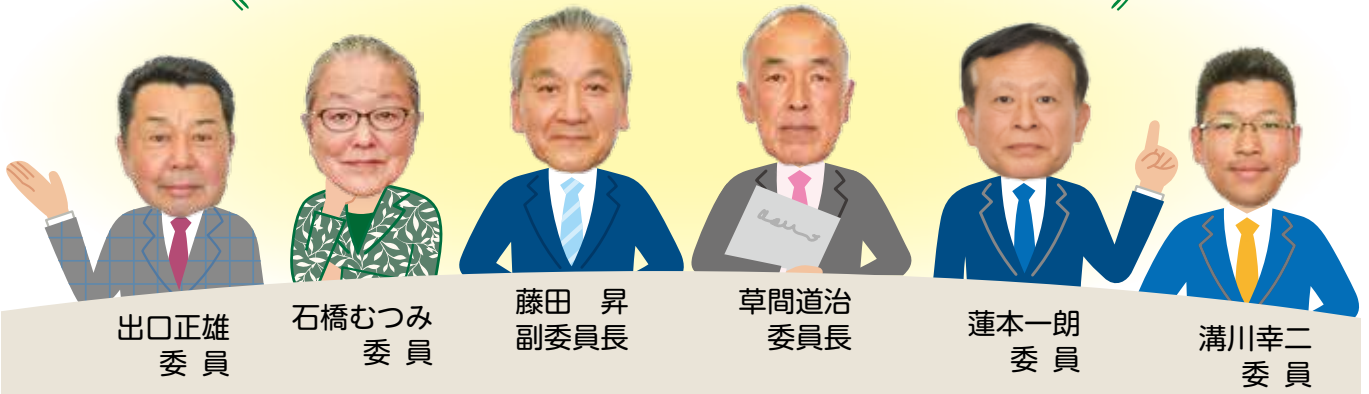
議員在職三十年

小林直樹 議員（写真右）

議員在職十年

寺田一樹 議員（写真左）

議会だより編集委員会の委員紹介



出口正雄 委員

石橋むつみ 委員

藤田 昇 副委員長

草間道治 委員長

蓮本一朗 委員

溝川幸二 委員